

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/s6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/s6h94000000pqh.html)

1学期 立腰チャンピオン 家庭学習チャンピオン 努力賞です

○学期毎に、立腰と家庭学習の立派だった小学生を表彰していますが、ねらいは他の児童も成長するとともに自然と身に付けてほしいと願って進めています。

○立腰は、教室での授業だけでなく、体育館やグラウンドなど、集会でも大切なマナーとして身に付けてほしいです。

○表彰を重ねることで授業を受ける児童の態度も身に付き、先生の話をよく聞いている光景が見られています。

○家庭学習の習慣化は、基礎学力定着のために不可欠な要素です。これまでも、ドイツの研究者の「エビングハウスの忘却曲線」から、繰り返しの学習の大切さを伝えるとともに、学校では手立てを工夫して進めています。

○笛舞小学校 (敬称略)

- ・立腰 1年 川村 椋純
- 4年 斉藤 裕哉
- ・家庭学習 2年 佐藤 柚希
- 5年 小山 航生



○えりも小学校

- ・立腰 1年 大西 結愛
- 5年 中野 実結
- ・家庭学習 4年 泉 朝耀
- 6年 白石 にこ奈



○えりも岬小学校

- ・立腰 1年 渡部 櫻子
- 2年 福嶌 結愛
- ・家庭学習 4年 菊地 恋羽
- 5年 宮崎 玲奈

4人が揃わなかったため、来月号に努力賞の4人の写真を掲載します。

○庶野小学校

- ・立腰 5年 水上 雄聖
- 6年 小松 龍史
- ・家庭学習 5年 田中 夢乃
- 6年 水上 碧唯



○表彰式は、終業式に合わせて行われましたが、全校児童は拍手をするなどみんなで表彰者を称えました。

7月2日、幼稚園・保育所の先生と小学校の先生が合同研修会 16時30分にえりも小に集合し18時まで熱心に研修に励みました



○7月2日（火）、えりも小学校で、光の園幼稚園の先生方5名、町立保育所の先生方11名、小学校の先生方19名の35名と日高教育局の長南指導主事が指導助言に加わって行われました。進行は、当町の久保幼小接続アドバイザーとえりも小学校の幼小接続担当の粕谷先生が名コンビで楽しく進めていました。

○本合同研修会は、昨年度も2回開催（オンライン開催）し、集合形式としては初めての開かれましたが、幼児教育施設と学校が共にこの研修の大切さを学ぶ機会となりました。全道でもこのような形で行うことは様々な事情で開催に難しさがありますが、当町の実践はとても素晴らしいことから町民の皆さんにお伝えしました。

合同研修会では、次のようなことを研修しました。

○全国的に取り組が進んでいる滋賀県で作成したDVDを視聴し、幼児に対する先生のかかわり方を学びました。

○道教委が作成したオンデマンド教材では、園から雪道を歩いてウサギの見学に行く途中の活動場面が映されました。

○そこでは、5歳児が3・4歳児に気遣いながら誘導するシーンや、先生がカラスの鳴き声を生かして励ましの鳴き声と捉えて、語り掛けのシーンが流されるなど、先生方のかかわり方の工夫として参観した先生方に勉強になりました。

○後半は、幼稚園、保育所、小学校の先生がグループごとにDVDやオンデマンド教材を見て感じたことなどを話合いました。

～参加者の感想～

●グループでの話合いは、有意義な時間であり、現場での思いに話がつながっていき、とても実りあるものだった。

●実際に集まって、直接話すことにより、学校や幼児教育施設の距離間が縮まったように感じた。研修会の回数を重ねることでさらに「知りたい」という興味・関心が強くなると思った。

●思った以上に、楽しくお話をすることができた。